

令和5年度事業報告書

(R5.4.1~R6.3.31)

事業名	実施事項	実施時期等	実施内容
相談活動の推進	電話相談等	年間 (961件)	電話相談及びメール相談に対しては、相談員及び支援員の相談対応能力の向上を図りながら適切に実施した。(内：メール相談139件)
	面接相談	年間 (64件)	面接相談に対しては対応する相談員等の相談対応技能の向上を図りながら、相談者に配慮しながら適切に実施した。
	専門相談	年間 (18件)	委嘱した弁護士や臨床心理士による無料相談を実施した。(上記1,025件の内数)
直接的支援活動の推進	付添い支援 日常生活への支援	年間 (67件)	被害者等の要請に基づき、相談員、直接支援員等による付添い支援、裁判の代理傍聴等を行い、精神的負担の軽減を図った。(警察20件、裁判所23件、検察庁3件、弁護士法律相談・病院等付添19件、自宅訪問0件、物品の供与・貸与0件、宿泊施設提供0件、支援金等支給1件、その他1件)
間接的支援活動の推進	自助グループへの支援	年間 (8回)	被害者遺族同士で支え合う自助グループ「ゆるら」を、8月、9月、10月、1月を除き年間8回開催し、積極的な支援を行った。
	犯罪被害者給付金申請補助	年間 (1件)	被害者等の犯罪被害者給付金申請の際、その補助を行う支援を行った。
ボランティア支援員等の育成・養成	支援員継続研修	年間 (48回)	知識、電話対応、面接技術等の向上、相談員等のメンタルケアなどに関する研修を実施し、支援員の育成を図った。 (事例検討10回、継続個別研修36回、裁判傍聴研修0回、外部講師による支援員研修会2回)
	支援員養成講座 (第15期生)	10月～2月 (10日間)	初回の入門編を公開講座とし、以後ボランティア支援員候補者を対象に専門家等による被害者支援に関する講義、ロールプレイ等を実施した。 (入門編1日、養成講座9日間)
相談体制の充実	性犯罪被害者支援員継続研修	年間 (4回)	山梨県からの委託事業「やまなし性暴力被害者サポートセンター」の業務に従事する支援員を対象に、電話対応、面接技術等の向上、メンタルケアなどに関する研修を実施した。
	性犯罪・性暴力被害者支援専門家研修	年間 (2回)	関係機関で性犯罪・性暴力被害者支援に携わる専門家を対象に、NPO法人ぱっぴす(ポルノ被害と性暴力を考える会)相談主任 内田氏を講師にお招きして県立図書館で講演会を開催した。
	専門相談員の委嘱と緊密な連携	年間	相談業務の充実を図るため、専門相談員11人(精神科医2人、臨床心理士6人、産婦人科医2人、弁護士1人)を委嘱し、緊密な連携の下、必要な体制の整備に努めた。
	代理被害の防止	年間	支援員等の代理被害を防止するために、臨床心理士、医師等による研修を実施した。

広報・啓発活動	機関誌発行	年2回	機関紙「あなたの思いやりを」第40号4,000部と第41号を3,000部作成し、会員や県民等へ配付して業務案内や活動状況を広報した。
	広報啓発資料・物品等の作成	年間	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報資料作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動販売機小窓掲載用ポスター 800枚作成 ・ やまなし性暴力被害者体験シートリーフレット 10,000部作成 ・ 中高生向きリーフレット「大切なあなた、かけがえのないあなたに伝えたいこと」 20,000部作成 ・ 被害者支援センターやまなし 広報用ポスター 200枚作成 ● 広報啓発物品作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報啓発用 文具用品（アマル付箋） 3,600個購入
	街頭活動	年間	<ul style="list-style-type: none"> ● 「犯罪被害者支援の日」街頭キャンペーン（JR甲府駅南口、パデストリアゾック） ● ヴァンフォーレ甲府最終戦開始前、広報活動（11/3：小瀬スポーツ公園） ● 「県民の日」イベント会場での広報活動（小瀬スポーツ公園） ● 南甲府警察署犯罪被害者協議会（ヴァンフォーレ甲府ヴァンくんを犯罪被害者支援PR大使に委嘱）との広報活動（11/24：イオンモール甲府昭和） ● ミニ生命のメッセージ展共催（11/26～12/1：総合交通センター）
	ホームページ更新、講師派遣等	年間	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページの随時更新 ホームページを随時更新することにより、タイムリーに新たな情報を発信した。 ● 新聞広告、他団体機関誌、広報誌への掲載 広告を地方新聞2紙に延べ69回掲載したほか、法人会員の機関紙等により、県民への周知を図った。 ● 講師派遣 甲府刑務所、臨床心理会など各種関係機関や団体等からの要請に応じ、講師の派遣を延べ10回行い犯罪被害者等の現状及び支援活動の重要性・必要性について周知を図った。
	展示会、講演会、命の大切さを学ぶ授業等の開催	年間	<ul style="list-style-type: none"> ● 犯罪被害者支援週間山梨大会の共催 11月28日、桃源文化会館芸術ホールにおいて、犯罪被害者支援週間山梨大会を開催し、犯罪被害者御遺族岩城順子氏による基調講演、関係機関、見識者等によるパネルディスカッションを企画した。 ● 命の大切さを学ぶ授業 高校生・中学生を対象にした「命の大切さを学ぶ授業」を9回開催した。 甲斐清和高校、甲府北西中学校、ヴァンフォーレ甲府U-18、塩山高校、笛吹高校、富士北陵高校、白根飯野小学校(PTA)、富竹中学校、甲府北中学校 ● 被害者支援を考える・学ぶ講座 山梨学院大学法学部
調査研究活動	研究活動	年間	全国規模、関東・甲信越ブロック規模の犯罪被害者支援に関する研修会、他の関係機関が開催する各種講座・講演会等へ積極的に参加し、被害者支援活動の現状・問題点、支援団体のあり方等について研究した。（延べ29回 53日間 58人参加）